

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M212X401		看護研究 (Nursing Research)													
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
必修	2	4	医学部看護学科	前・後	月1	日本語			複数(共同)						
担当教員	氏名 小野光美、他 看護学科全教員 E-mail mitsumie@ 内線 5091														
授業の概要	自ら経験した看護実践や看護学全般において疑問に思ったことをリサーチクエストに発展させ、指導を受けながら計画・実施し、一連の研究プロセスを実際に体験することで「看護の現象」を追究し、看護の本質をつかみ、看護実践や看護学の発展につなげていくことの重要性や意義を学ぶ。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1	自分が経験した看護実践や看護学を学ぶ中で、自らの疑問や関心を言語化する														
目標2	文献レビュー・文献クリティークを行う中で、リサーチクエストおよび研究目的を明確に説明する														
目標3	研究目的にそった科学的合理的な研究方法と倫理的配慮を考慮した研究計画を立案する														
目標4	研究計画にもとづきデータ収集・分析・まとめを行う														
目標5	研究計画や研究成果等について、他者にわかりやすいプレゼンテーションを行い、活発で建設的な意見交換をする														
目標6	論旨の一貫性のある研究論文を作成する														
目標7	研究のプロセスを振り返り、看護研究の重要性と意義、自分にとっての研究の意義を述べる														
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)								1	1	1	2	4	4		
授業の内容															
1	1. 研究の着想、先行文献の探索と吟味 ・研究に向けて自分の関心、素朴な疑問を記述する														
2	・文献を網羅的に探索し、情報収集、整理を行う														
3	・文献クリティークによりリサーチクエストを明確化し、研究背景、目的、を検討する														
4	2. 研究計画の立案 ・研究目的を明確に説明する														
5	・研究デザイン、対象者、データ収集方法、分析方法、倫理的配慮について検討し、計画する														
6	3. データ収集・分析・まとめ ・研究計画書にもとづき、データ収集、分析、まとめを行う														
7	4. 研究成果の発表【研究発表】・看護研究発表会で研究成果をプレゼンテーションする														
8	・意見交換を通して研究を洗練する														
9	4. 研究成果の発表【研究論文の作成】・論旨の一貫性を踏まえた論文、要旨を作成、提出する														
10	・必要に応じて研究協力者・対象者に研究成果を報告する														
11	5. 研究プロセスの振り返り ・研究プロセスを振り返り、看護研究の意義と、自分にとっての研究の意義を説明する														
12															
13															
14															
15															
ラ	A:知識の定着・確認	A:研究プロセスを繰り返し復習する。				工 夫 そ の 他 の	研究の一連の過程を経験する								
イ	B:意見の表現・交換	B:同じ領域の学生や教員との意見交換を行う。													
ン	C:応用志向	:研究実践活動 研究論文作成 研究論文の発表													
テ	D:知識の活用・創造														
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	原著論文等、論文を読み、研究課題・目的を明確化する。研究計画を立案し、実施に向けて準備する。プレゼンテーションの準備をする。(22h)													
	事後学修	研究計画書にもとづき、データ収集、分析、まとめを行う。看護研究発表会での意見交換をもとに、研究論文を完成させる。(23h)													
	想定時間合計	45													
教科書	坂下玲子他:系統看護学講座 別巻 看護研究 第2版、医学書院、2023。(ISBN:978-4-260-04995-5)														
参考書	研究テーマに沿った論文等														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	論文抄読会（プレゼンテーション・資料）	20%										
	研究計画書（プレゼンテーション・資料）	20%										
	研究発表会	20%										
	研究論文 *期限内に提出しなかった場合0点	20%										
	研究プロセスの振り返り（面談）	20%										
注意事項	3年次「看護研究方法論」の講義最終回で配布した「看護研究の手引き」を必ず参照すること											
備考												
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の有無												
教員の 実務経験	保健師、助産師、看護師、医師											
教員以外の 指導に関する 実務経験者	保健師、助産師、看護師、病院の医師としての経験から看護の課題を抽出し、研究の方法や進め方、結果の解釈および考察の仕方の実際についての学修を支援する。											